

# 科学技術イノベーション戦略の今後の展望 (2013.12.3 パネルディスカッション論点まとめ)

## 1. 世界と戦える研究力強化

- 大学・研究開発法人を国際的イノベーションハブとして強化(原山、笠木、松本)
- 大学イノベーション戦略 = コメがあつてのコメ、学問をベースとした研究、技術、イノベーション(松本)
- 長期的・基礎研究領域(バリューイノベーション)と、短期的・応用研究開発領域(プロセスイノベーション)(西田)
- 「国を強くし、国民の幸せのために」(渡邊)
- 社会的期待の発見研究に基づく研究開発課題の設定(笠木)

## 2. 戦略的な産官学連携

- 知の「創発」を導くコラボレーションプロトコル、イノベーションファシリテータ(企業チーム・大学チームの創発)(西田)
- Filling Gap = 課題解決のための連携の誘導・推進、研究現場への政策的意図の周知(笠木)
- 学官産をつなぐ仲介組織(NEDO, JST, ITS Japanなど)(渡邊)
- 大学本来の機能を生かす新しい社会的価値テーマの創出(松本)
- イノベーションのためのアクション(現場で何をするか)(原山)

# 科学技術イノベーション戦略の今後の展望

(2013.12.3 パネルディスカッション論点まとめ)

## 3. イノベーションの担い手づくり

- DARPAモデルに学ぶイノベーションの担い手づくり(R&D、実用化、調達、現場への導入まで一気通貫)(西田)
- 人材流動化の促進、若手人材のリーダーシップ発揮(原山)
- 長期ビジョンに基づくグローバル人材育成、キャリアパス形成支援(笠木)
- 産と学の壁を越えた組織的な人財育成の場の設置(渡邊)
- 失敗を許容し、国際的経験や現場での経験・実践を促す機会の拡大(松本、原山、渡邊)
- 学際・国際教育研究によるグローバルリーダーの育成(松本)
- 入試改革、就活再考、教員評価再考で「ダイナミックな大学」に(松本)
- アイデアを交換し作り上げていく人材育成・教育(ハネ)

# 科学技術イノベーション戦略の今後の展望

(2013.12.3 パネルディスカッション論点まとめ)

## 4. 研究成果を実用化・事業化までつなぐ機能の強化

- 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)による基礎研究から出口(実用化・事業化)までの府省横断プログラム(原山)
- 府省連携、国家の社会的課題の解決(西田)
- 産学官民の連携、CRDSとして国内外のネットワーキングと協力して産学官民の連携支援(笠木)
- 学・官・産 夫々の風土革新(縦割り打破とオープン化)(渡邊)
- 超長期、根源的視座、多層的視点による、よりメタなフェーズでの産学連携(松本)

## 5. 戦略企画・立案力の強化

- 調査・分析機能(シンクタンク)の強化、シンクタンク機関(学会会議、JST/CRDS)との連携強化(原山)
- シンクタンク機関と大学戦略企画部門との連携強化(松本)
- 公的シンクタンクとしてのCRDSからの客観的根拠に基づく実行性のある提言、助言者としての科学者(笠木)
- 政策全般に関わる科学顧問制度が必要(大西)